

緑のセンターだより

NO. 228 平成 30 年 3 月 1 日 発行

発行元：（公財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

アオダモ

モクセイ科 トネリコ属
Fraxinus lanuginosa



アオダモは、北海道から九州、千島列島に分布する落葉広葉樹の亜高木です。葉は対生の羽根状複葉状、葉の縁には鋸歯があります。アオダモには雄花だけをつける雄性株と雌雄両性花をつける両性株があり、さらに風媒と虫媒の両方の受粉をするという特殊な繁殖特性を持っています。北海道では6月頃に円錐花序に白っぽい花弁をつけた花冠が見られ、10月頃には翼果が見られます。

アオダモの和名の由来は、切った枝を水に浸けておくと青い蛍光色になることや、その青い液を染料や青墨を作る際に利用されていたことなどによると言われています。

アオダモの材質は反発力が強く、弾力性に富み、強靱で耐久力があることから、古くから農機具材や器具材として重用され、特にプロ野球選手が用いる木製バットの材料として活用されてきました。バット材に適するアオダモは、真っ直ぐで腐れがなく、適度な比重と均一な年輪幅などの特性が求められ、北海道の日高地方や道東地方で産出されたものがよく適合し、これらの地域から原木の多くを富山や岐阜のバット製造工場へ運んでいきました。しかし、最近はこの地域のアオダモの生産量が減少しつつあり、10年前は全製品の55%を占めていたアオダモ製のバットは、2014年度には5%と激減したそうです。あのイチロー選手も、日本産のアオダモからアメリカ産のホワイトアッシュのバットに切り替えたと聞きました。

アオダモの生産量が減少した原因としては、アオダモが天然林内で他の樹種と混在して生育していること、5年から7年に一度の豊作年以外の種子の発芽力が低いと言われていて天然更新がなかなか困難なこと、さらに、アオダモは生長が遅いことに加え、個体数が増加したエゾシカによって樹皮が食害されて、アオダモの数が減少していることなどがあげられています。

こうした状況を踏まえ、国や道の林業行政部門、試験研究機関のほか民間団体などが、エゾシカからの食害防止対策や、アオダモの生育適地に苗木を植栽するなどの資源の回復運動に取り組んでいます。

ただ、アオダモの苗木がバット材に適する大きさに生長するには60年以上を要し、年間およそ10万本もの需要がある木製バットに供給するほどの資源量を確保するまでの道のりは遠く、長期にわたって活動を展開して行く必要があります。

(K. T)

<参考文献> 「北海道樹木図鑑」 亜璃西社、「北海道の樹木ベストセレクト 100」 亜璃西社

「朝日百科 世界の植物」 朝日新聞社、「林木遺伝資源情報通巻 71」 森林総合研究所林木育種センター

「BAT FOREVER」 アオダモ資源育成の会 web 他

3月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
※ 平岡樹芸センター・百合が原公園は
冬期間相談受付していません。

◆春播き一年草の種播き

「播かぬ種は生えぬ」。この春、花壇の苗を自分で育ててみませんか。
花壇用の草花類は多くありますが、まずは育てやすいものから取り組
むのがよいでしょう。これから種播きができるのは夏花壇向けの種類
が中心です。

《主な種の種類》

◎小さい種 ピート板、播種トレーなどにバラ播き

アゲラタム、アリッサム、インパティエンス、キンギョソウ
ケイトウ、コリウス、ペチュニア、四季咲きベゴニア
センニチコウトレニア、リナリア、など

◎中くらいの種 ピート板、播種トレー、育苗バットなどに筋播き

アスター、ジニア、ストック、セントーレア、バーベナ
フロックス、ハウセンカ、マリーゴールドなど

◎大きな種 播種トレー、ポット、育苗バットなどに点播

または、春雪解け後暖くなってから花壇やプランターに直播
アサガオ、キンセンカ、キンレンカ、ヒマワリ、フウセンカズラ等

《種まきの準備》

◎容器 市販の播種用成型トレー、ピート板、ポリポット、手製の容器
(ペットボトルやインスタント食品のトレーなどの底面に小さな穴
を開け加工をする)

◎用土

①保水力がある ②通気性が良い ③清潔(病虫害のない)である
を満たす用土を選ぶ。

バーミキュライト、ピートモス(調整)、赤玉土、鹿沼土、火山礫
など単体又は混合。種より大きな粒の土は避ける。

《種まき後の管理》 種類によって発芽までの日数は異なるので発芽す
るまでは播床を乾燥させないように注意します。直接水を掛けると種が
流れるのでスプレーなどで慎重に行いましょう。

《発芽後の管理》 発芽したら直ちに日に当てましょう。温度管理では、
昼間は日当たりで暖かく、夜は15℃以下にならないよう保温してく
ださい。

◆ウメの剪定

美味しいウメを収穫するためには、春の剪定作業が大切になります。プルーン、プラムなども共通
しますので、参考にしてください。

ウメの仕立て方は、主枝3本の開心自然形(盃状形)と呼ばれる仕立て方が一般的です。苗木を植
えて3～4年目に中心の枝を抜き、それぞれの主枝に2本の亜主枝を配置します。亜主枝にはさらに
側枝と呼ばれる枝を2～3本つけます。これに花芽をつける短果枝などの枝が出るように仕立てます。

小さい種

バラ播き



二つ折にしたハガキを軽く
振動させ種を落とす。覆土は
せず、ティッシュや新聞紙で
覆う。覆いは乾燥させないよ
う注意する。

中くらいの種

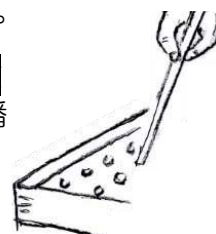
筋(条)播き



まき床に筋を切って適当な
間隔で種を落とし、種が隠れる
程度覆土して、新聞紙で覆い乾
燥を防ぐ。

大きい種

点播



大きい種

直播



育苗バットなどに穴を開
けて種を1個づつ埋め込み、
種の大きさの3倍覆土(埋
め込みの深さを含む)する。
特に花壇等への直播きでは
発芽まで乾燥させない。

1. ウメの剪定

ウメの枝は日陰に弱く、枝枯れや花付きを悪くします。そのため、常に主枝・垂主枝の切り戻しや、側枝・結果枝の間引きを行い、樹幹内部への日当たりを良くする剪定が大切です。

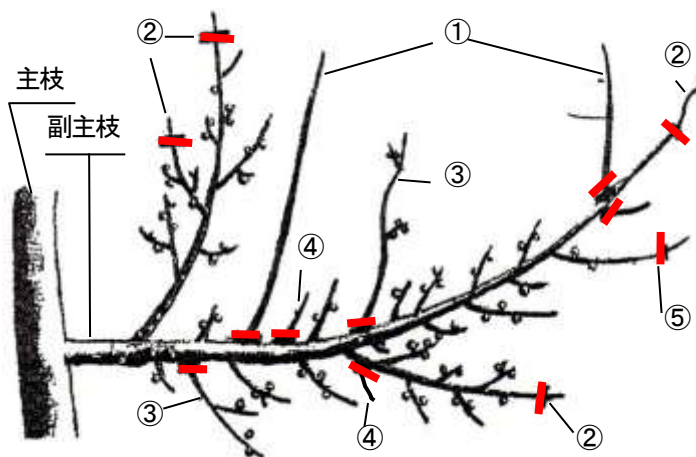
樹冠を一周して、込み具合、不要枝を見定めてから剪定にかかりましょう。大枝、中枝、小枝の順に進め、終わったら再び樹冠を一周し、手直しを入れます。ウメの枝は硬く、癒合組織の形成が悪いので、良く切れるノコ、ハサミを使い、切り口には癒合剤を塗りましょう。

春の剪定はまだ雪の残る3月上旬～下旬に行います。枝やこれから出てくる葉に陽がまんべんなく当たるよう間引き剪定も行いますが、春の剪定では側枝・発育枝の先を切って、枝に刺激を与え、枝の成長・分枝を促す剪定が重要です。

2. 剪定の要領

- ① 徒長枝・・・枝の付け根から切る
- ② 発育枝の枝先・・・1/3 切り戻す
- ③ 古い結果枝・・・枝の付け根から切る
- ④ 枯死した短果枝・・・切り除く
- ⑤ 長果枝・・・1/4～1/3 に切り戻す

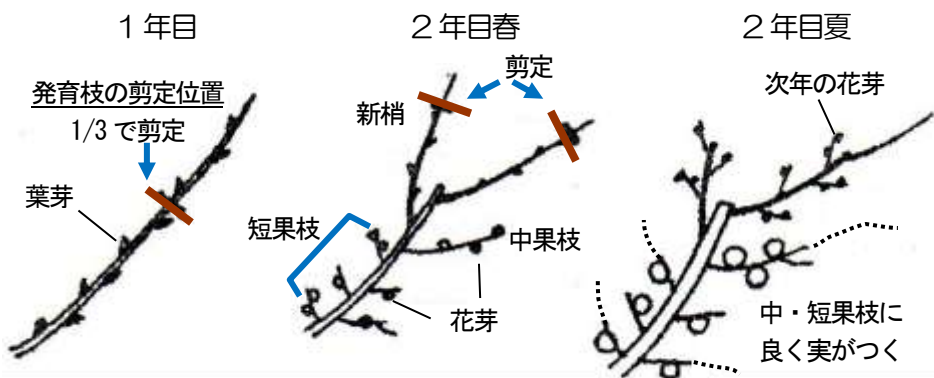
徒長枝は幹や枝から真っ直ぐ天に向かって勢よく伸びている枝で、つくのは全て葉芽なので切り落とします。古い結果枝で付け根に芽がないものも付け根から切り落とします。長果枝は今年の花芽は少ないですが、来年の短果枝が出ることで、枝先を切ることで枝の生長や分枝を促すことができるので短かくします。



3. 花芽のつく短い枝

花芽を多く付ける短い枝を「結果枝」といい、長さによって、次のように分けられます。

- ・短果枝——5～10cm の長さ
- ・中果枝——20cm 以下の長さ
- ・長果枝——20cm 以上



枝を一年目で強く3分の2くらいまで剪定すると、長果枝が多く発生し、花芽が少なくなります。2、3年かけて短果枝や中果枝を増やす切り方を行いましょう。

4. 夏の終わりから秋にかけて間引き剪定をする

8月下旬～9月上旬に徒長枝、込み過ぎる枝などの不要な枝を除くための剪定を行います。この時期の剪定は生い茂った木の内側まで日光を入れ、風通しを良くすることが目的です。

5. 石灰硫黄合剤の散布

融雪後から萌芽前（4月中旬頃）までに越冬病害虫の防除（カイガラムシ、アブラムシ、縮葉病など）として石灰硫黄合剤を撒布すると良いでしょう。濃度が7～10倍（水1ℓに143～100cc）と高めですので、撒布する際は周辺の樹木や住宅・車・歩行者などにかからないよう注意します。薬剤には展着剤を入れるようにします。石灰硫黄合剤の代用としては、害虫防除として萌芽前にマシン油を散布し、1週間後に殺菌剤を散布する方法もあります。



3月～4月の催しのお知らせ



豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
ボタニカルアート展	3月13日(火)～3月25日(日)		さっぽろ植物画同好会	入場無料
園芸教室				
果樹類の剪定と病害虫予防	3月11日(日)	13:30～	2/11(日)～	無料
バラ作り講座「知っておきたいバラ知識」	3月24日(土)	10:00～	3/11(日)～	300円
無料体験会				
ボタニカルアート無料体験会	3月23日(金)	10:00～	3/11(日)～	無料
連続講座				
ボタニカルアート講座 全10回のカリキュラムで、基礎から ボタニカルアートを学べます。	4/27～9/21 (各金曜日・全10回)	10:00～	3/11(日)～	10回で15,000円 絵の具など道具代 別途かかります。

百合が原公園 北区百合が原公園210 TEL011-772-4722 <http://yuri-park.jp/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会				
洋ランの育て方	3月10日(土)	13:00～	2/11(日)～	130円
レカンフラワー体験教室	3月18日(日)	①11:00～、②13:30～	3/11(日)～	2,630円
バラの基礎講座①「バラの育て方」 ～バラの系統と種類、その特性など～	4月1日(日)	13:30～	〃	200円
一年草の種まき	4月7日(土)	13:30～	〃	500円
イベント・展示会				
ツバキ展	2月27日(火)～3月18日(日)			130円
春の洋ラン展	3月6日(火)～3月11日(日)		北海道蘭友会	〃
レカンフラワー展	3月13日(火)～3月18日(日)		北海道フルールアール	〃
春の花展	4月3日(火)～4月22日(日)			〃

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
季節展示「サケの稚魚の群泳」	1月6日(土)～5月5日(土祝)	直接会場へ：無料	さけ科学館 582-7555
西岡公園自然調査報告展 in 博物館活動センター	3月14日(水)～3月25日(土)	直接会場へ：無料	西岡公園 582-0050
会場：札幌市博物館活動センター 10:00～17:00 (日・月・祝日 休館)			
子りす工房(木の実で自由に工作)	3月25日(日) 10:00～	直接会場へ：有料	農試公園 615-3680
ナチュラルリース作り	3月24日(土)9:30～	要申込：500円	
ミニクラフト「木の実で手形アート」	3月24日(土)～3月31日(土)10:00～	会場受付：100円 駐車料金有	滝野すずらん 丘陵公園 592-3333
冬期営業終了	3月31日(土)		
グリーンシーズンOPEN!	4月20日(金)	駐車料金有 入園料あり	

緑のセンターだより リニューアルのお知らせ

次号から紙面が生まれ変わります。より読みやすく、開花情報の充実を図った
新しい「緑のセンターだより」にご期待ください。